

平成29年12月吉日

名古屋工業大学研究協力会
(公財)名古屋産業振興公社
名古屋市

第4回 Nagoyaオープンイノベーション研究会のご案内 「製造・生産現場におけるIoT、ロボット・AIの活用事例」

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

IoT、ロボット・AIが生産現場から家庭にまで業種業態を超えて活用される時代が視野に入ってきました。工場の自動化、デジタル化により働き方も変わりつつあります。
今回は、産と学の立場から製造業における具体的な活用事例についてご紹介いただきます。
併せて、企業のプレゼンテーションとブース展示によるマッチングの機会を設け、オープンイノベーションの実現に向けた支援を進めて参ります。
万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

敬 具

記

1.日時 平成30年1月22日(月) 13:30～17:00

2.会場 名古屋工業大学(名古屋市昭和区御器所町)
講演・プレゼンテーション／ 4号館 1階 ホール
ブース展示会・情報交換会／4号館 1階 ホワイエ
(学内の「キャンパスマップ」をご参照ください。 <http://www.nitech.ac.jp/access/campusmap.html>)

- 3.内容 (1)会長挨拶 13:30～13:35
名古屋工業大学 産学官連携センター 准教授 矢野 卓真
- (2)テーマ講演 13:35～16:30
○講演1 (13:35～14:30)
「誰でも簡単にロボットを教示できるパラレルワイヤ教示装置PAWTED」
名古屋工業大学大学院 工学研究科 電気・機械工学専攻 教授 森田 良文 氏
<http://watt.web.nitech.ac.jp/index.html>
- 講演2 (14:30～15:25)
「自動車部品メーカーにおけるICT、IoTの取組み事例」(仮)
久野金属工業株式会社 専務取締役 兼 CIO 久野 功雄 氏
<http://www.kunokin.com/>
- 講演3 (15:35～16:30)
「町工場でも成果の出るIoT ～ 昭和の設備でも接続 ～」
旭鉄工株式会社 代表取締役 木村 哲也 氏
<http://www.asahi-tekko.co.jp/>
- (3)プレゼンテーション 16:30～17:00
○ブース出展企業 3社によるプレゼンテーション
- (4)情報交換会(トワイライト・パーティー)・ブース展示会 17:00～
○講師ブース ○企業ブース 3社
※ブース出展企業を募集します。詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.nipc.or.jp/sansien/nova/n_info.html

4.参加費 講演・プレゼンテーション:無料 情報交換会・ブース展示会:2,000円/人

5.定員 100名

6.申込方法 下記参加申込票に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申込みください。
手続き終了後、参加票を発行しますので、当日、受付にお持ちください。

7.申込期限 平成30年1月17日(水)

8.申込み・お問合せ

公益財団法人名古屋産業振興公社 研究推進部研究開発支援課 担当:岩田
TEL:052-736-5680 FAX:052-736-5685 E-mail: n-ova@nipc.or.jp
http://www.nipc.or.jp/sansien/nova/n_info.html

9.主催 名古屋工業大学研究協力会、名古屋市、(公財)名古屋産業振興公社

※ 切らずにこのままFAXして下さい

第4回 N-ova 参加申込票(FAX 052-736-5685まで)

公益財団法人名古屋産業振興公社 研究開発支援課 担当:岩田 宛
(TEL 052-736-5680 E-mail : n-ova@nipc.or.jp)

会社名			
所属・役職		情報交換会 どちらかに○をつけてください。	
氏名		出席 ・ 欠席	
住所			
TEL		FAX	
e-mail			

==個人情報について==
ご記入いただきました個人情報はNagoyaオープンイノベーション研究会の運営および主催者が開催するイベントのご案内に必要とされる範囲で利用させていただきます。主催者、事務局、講師以外の第三者への提供は一切行いません。保有する個人情報の開示、訂正、利用停止につきましては、n-ova@nipc.or.jpへご連絡下さい。
=====

***** ブース出展企業募集 *****

パネル、製品、試作品などを展示していただけます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://www.nipc.or.jp/sansien/nova/n_info.html